

■秋期実施：理論経済学 / 応用経済学 英語

次の文章を読み、以下の設問に日本語で答えなさい。

(著作権の都合上、問題文の掲載をしておりません。)

出典：Thomas Piketty, translated by Steven Rendall, A Brief History of Equality, Belknap Press: An Imprint of Harvard University Press, 2022.

1. 下線部(a)を日本語に訳しなさい。
2. 下線部(b)を日本語に訳しなさい。
3. 下線部(c)に関して、なぜ「良心の呵責」を感じないのか、説明しなさい。
4. 全体の内容を踏まえて、筆者の主張とその根拠をまとめ、日本語で 200 字以内で要約しなさい。ただし、以下の要素を必ず含めること。
- ・教育における「平等」と現実とのギャップ
 - ・アメリカとフランスの高等教育制度に見られる不平等の具体例
 - ・筆者が提案する解決の方向性

■秋期実施：理論経済学 / 応用経済学 ミクロ経済学

1. パレート効率性とはどのような概念か説明せよ。
2. リスク中立的な選好とはどのような概念か説明せよ。
3. 二人の消費者 (1, 2) と二種類の財 (x, y) から成る交換経済 (エッジワース・ボックス経済) を考える。初期賦存として財 x と y をそれぞれ、消費者 1 は 20 単位と 50 単位、消費者 2 はそれぞれ 60 単位と 30 単位を保有する。消費者 1 と 2 の効用関数はそれぞれ、 $U_1(c_{x1}, c_{y1}) = c_{x1}^{\frac{1}{2}}c_{y1}^{\frac{3}{2}}$ と $U_2(c_{x2}, c_{y2}) = c_{x2} + c_{y2}$ で与えられる (c_{ji} は消費者 i の財 j の消費量を表す)。財 y の価格を 1 とし、財 x の価格を p で表すことにする。このとき、以下の間に答えよ。
- 1) 財 x の価格 p の関数としての消費者 1 の需要関数を求めよ。
- 2) 二人の消費者が価格受容者 (プライステイカー) としてふるまうとき、市場均衡における財 x の価格を求めよ。
- 3) 前問と同じ仮定の下で、市場均衡における消費者 2 の財 x と y の消費量を求めよ。
4. プレイヤー 1 が戦略 T か B を選び、プレイヤー 2 が戦略 L か R を選ぶ戦略形ゲームについて考える。このゲームの利得表は以下で与えられるものとする。

	L	R
T	5, 3	0, 0
B	1, 1	3, 5

ただし、各マスの左の数字はプレイヤー 1 の利得、右の数字はプレイヤー 2 の利得を表している。このとき、以下の間に答えよ。

- 1) このゲームの純粋戦略ナッシュ均衡を全て求めよ。
- 2) プレイヤー 1 が T を選ぶ確率を p 、プレイヤー 2 が L を選ぶ確率を q として、このゲームの混合戦略ナッシュ均衡 (p, q) を全て求めよ。ただし、前問で求めた純粋戦略均衡に対応するものは省略しても良い。

5. 二人のプレイヤー (ジャッキーとクリス) の間の以下の展開形ゲームを考える。最初にジャッキーがクリスを食事に誘うか否かを決める。誘わない場合はそこでゲームは終了する。食事に誘われた場合、クリスは誘いを受け入れるか断るかを決める。誘いを断る場合はそこでゲームは終了する。クリスが誘いを受け入れた場合、ジャッキーは食事代を自分ひとりで支払うか割り勘にするかを決めて、ゲームは終了する。ジャッキーとクリスの利得をそれぞれ U_J と U_C で表す。二人が食事に行かない場合 (すなわちジャッキーが誘わない場合とクリスが誘いを断る場合) の二人の利得は $(U_J, U_C) = (0, 0)$ である。二人が食事に行きクリスが食事代をひとりで支払った場合は $(U_J, U_C) = (3, 3)$ 、割り勘の場合は $(U_J, U_C) = (5, 1)$ である。このとき、以下の間に答えよ。
- 1) このゲームにおけるジャッキーの戦略を全て列挙せよ。
- 2) このゲームのナッシュ均衡を全て求めよ。
- 3) このゲームのサブゲーム完全均衡を全て求めよ。

■秋期実施：理論経済学 / 応用経済学 マクロ経済学

[I] 下の表は日本の 2024 年の第 1 四半期 (1 月～3 月) と第 2 四半期 (4 月～6 月) の GDP 統計である。この表を使って、下記の 1～4 の各問題に答えよ。ただし、問題 1～3 に関しては、計算過程を必ず明記し、答えが整数でない場合は四捨五入して小数点以下第 2 位まで求めること。

(単位:10 億円)

実質季節調整系列	GDP	民間最終消費支出	民間住宅設備	民間企業設備	民間在庫品増加	政府最終消費支出	公的固定資本形成	公的在庫品増加	財貨・サービスの輸出	財貨・サービスの輸入	差
2024/1-3.	554,141	294,337	17,879	92,504	2,004	119,168	25,586	19	109,747	106,868	-234
2024/4-6.	558,061	297,019	18,188	93,221	1,379	119,293	26,623	-24	111,372	108,667	-342

四半期別 GDP 速報 (内閣府) より作成

1. GDP の成長率 (前期比) を年率換算すると何%になるか答えよ。
2. GDP 成長率に対する民間最終消費支出の寄与度は何%になるか答えよ。
3. GDP 成長率に対する民間最終消費支出の寄与率は何%になるか答えよ。
4. 2024 年 1 月～6 月の短期の景気動向について分析せよ。

[II] 下記の用語について、その意味をできるだけ詳しく説明せよ。必要に応じて数式や図を用いてもよい。

- (a) 効率賃金仮説
- (b) フィッシャー方程式
- (c) ケインズ型消費関数
- (d) 現代貨幣理論 (MMT)
- (e) コール・レート
- (f) 基礎的財政収支 (プライマリー・バランス)

[III] 短期の総供給関数を硬直的賃金モデルを使って導出せよ。導出に際しては、下記の生産関数を用いること。

$$Y = AN^{1/2}$$

ただし、 Y : 産出量、 N : 労働量、 A : プラスの定数